

都県内における推進事業取組実施状況一覧表

修正	取組名	事業実施主体名	計画策定時	事業実施後 (目標年度)		目標 (平成29年度)		事業費 (円)	負担区分 (円)				目標達成状況 B/A×100	事業主体等による評価結果	都県による点検評価結果 (所見)
			被災前 22年度	実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内容 (計画)		交付金	都県費	市町村費	その他			
	自給飼料 生産・調 製再編支 援	白沢和 牛放牧 研究会	(平成22年度) WCS用稲 2ha 永年生牧草 12ha 計14ha	(平成29年度) WCS用稲 2.5ha 永年生牧草 13.3ha 計15.8ha	ロールベアラー 1台 ラッピングマシ ン1台	(平成29年度) WCS用稲 4ha 永年生牧草 16ha 計20ha	ロールベアラー1 台 ラッピングマシ ン1台	6,237,000	2,870,000	1,865,000	0	1,502,000	79.0%	<p>永年生牧草については、大規模に肉用繁殖牛経営を行っている畜産農家が亡くなり、後継者が急遽引き継いだため、牧草栽培技術が未熟であったことから、作付面積が一時的に減少し、目標値まではとどかなかったが、概ね目標達成となっている。</p> <p>牧草については今後も規模拡大に努め、計画当初の目標に近づくよう努める。</p> <p>WCS用稲については、平成29年の春に圃場条件が悪い箇所があったことで、水はけが悪く機械がぬかるみにはまってしまうことから機械の進入が困難であったため、取組面積が増えなかったため、WCS用稲については未達となっている。</p> <p>今後については条件の良い圃場の集積を進め、取組面積の拡大に努める。</p> <p>なお、H30年度の実績については組合員の増加と後継者の牧草栽培の技術向上による作付面積の回復等で、WCS用稲で3.7ha、牧草で14.8ha合計の達成状況は18.5haで達成率92.5%となっている。目標値達成については平成32年度を目途に達成予定。</p>	特にWCS用稲については、作付面積拡大を含めて関係機関と連携して牧草の栽培技術や作業のしやすい圃場の集積推進の支援を行い平成32年度の達成を目指す。

(別紙様式2号 別添)

都県内における推進事業取組実施状況一覧表

修正	取組名	事業実施主体名	計画策定時	事業実施後 (目標年度)		目標 (平成29年度)		事業費 (円)	負担区分 (円)				目標達成状況 B/A×100	事業主体等による評価結果	都県による点検評価結果 (所見)
			被災前 22年度	実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内容 (計画)		交付金	都県費	市町村費	その他			
	自給飼料 生産・調 整再編支 援	白岩南 部自給 飼料生 産組合	(平成22年度) WCS用稲 1.0ha 永年生牧草 8.0ha 計9.0ha	(平成29年度) WCS用稲 0.7ha 永年生牧草 7.9ha 計8.6ha	ローラー 1台 ラッピングマ シン1台 積込機1台	(平成29年度) WCS用稲 5ha 永年生牧草 15ha 計20ha	ローラー 1台 ラッピングマ シン1台 積込機1台	6,600,960	3,056,000	1,986,000	0	1,558,960	43.0%	平成29年春先の気象条件が悪かったため、稲WCSの圃場は水はけが悪化し、作業困難だった。 永年生牧草についても、平成28年秋、平成29年の春の長期的降雨により播種作業が遅れ、さらに圃場の条件が悪い部分が多かったため、目標面積を多く下回った。 今後については、取組み面積の拡大に努めるとともに、白岩南部に隣接する畜産農家の新規加盟を含めて利用規模拡大を図っていく。具体的には、市内農家2件加盟による草地6.9ha利用拡大と本宮市に隣接する郡山市の農家1件加入によるWCS4haの利用拡大を実施する。31年度見込草地は14.7ha WCSは4.7haとなり概ね目標を達成する見込みである。今後、作付け面積確保に向けて関係機関と情報共有に取り組む。	目標を大きく下回り計画策定時から増加していない。WCS用稲は今後も水田転作における地域の推進作物と位置づけ、耕種農家と畜産農家との連携を支援し、目標の達成を目指す。永年生牧草も市等関係機関と連携を図ることで、平成31年度は目標を概ね達成させる。今後は作付面積の拡大を支援する。
								207,197,920	95,900,000	62,332,000	0	48,959,920			

(注) 1 別紙様式1号の別添1に準じて作成すること。
2 「都県による点検評価結果(所見)」には、都県としての事業実施主体ごとの目標達成状況に関する評価を記載するとともに、目標未達成の場合には改善措置の指導の必要の有無を含めた今後の改善指導方を記載する。